

# 自己改革取組宣言

これまで、これからも、地域とともに  
J A筑前あさくらは総合事業を展開します

J A筑前あさくらは自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」  
「農業生産の拡大」「地域の活性化への貢献」に取り組んでいます。

私たちが組織している協同組合とは、組合員一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いを叶えていく組織です。

J Aは、農業者の所得増大や地域農業の振興を目的として、営農指導を要とした農産物の販売や、J Aバンク・J A共済などの様々な事業を、営農活動や地域密着活動を通じて総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域の活性化に取り組んでいます。

また、地域住民の方々は、くらしや食と農の問題に関心を持つ農業の応援団として、准組合員に加入しています。

このように、農業者と地域農業の応援団で、J Aの総合事業を通じて、地域の農業とくらし、みんなの願いを叶える取り組みを支えあっています。

これからも総合事業の強みを活かし、地域に必要とされる組織であり続け、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。

以上をふまえ、別紙の中期経営計画に役職員一丸となって取り組みます。

また、主な取り組みは以下の通りです。

1. 園芸作物における生産・販売力の強化  
主要品目の単収拡大と優良事例の検証等による栽培技術の普及拡大を図ります。
2. T A C活動による担い手支援  
活発なT A C活動を通じ、担い手経営体の経営課題やニーズに対して、各部門の連携による総合事業を提案します。
3. 新規就農者支援の強化  
地域の関係機関と連携した就農サポートの充実と新規就農者を確保します。

なお、当J Aの営農指導事業の主な取り組みは次の通りであり、予算額は2,178万円となっています。

- ①生産履歴の記帳と確認、計画的な残留農薬分析・土壌分析を実施し、分析結果に基づく資材投入指導と単収向上を図ります。
- ②普及指導センターや農業試験場と連携し、新品種を見据えた試験栽培の取り組みを行います。
- ③消費者・実需者のニーズを捉えたあさくらブランドの強化・確立を図ります。

以上、宣言する。

令和元年6月27日

筑前あさくら農業協同組合 第25回通常総代会